学校番号	414

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２/４単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究（ 実教出版 ）						
副教材等	４ステージ演習ノート　日本史（ 数研出版 ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は暗記科目ではありません。日本史に興味関心を持ち、因果関係などに注意しながら流れを理解して、面として歴史を構造的に把握することを意識する。事象・人物名を覚えるのではなく、日本史を通じて、世界の中での日本を理解し、これからの国際社会で日本はどうあるべきかということを学んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日本史の展開について出来事などの知識をもち総合的な理解を深めて技能を獲得し、多面的・多角的な思考・判断力を身に付けて考察し、様々な情報を調べまとめる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
・日本史を現代の課題と関連して主体的に学び、自ら探求することで歴史的思考力・判断力を養い表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】
・日本の歴史を世界の動きと関連して把握することで思考判断力を身に付け、国際社会に生きる日本人としての表現し、主体的に学び生きる力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界の歴史と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現し、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習項目	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	第1部　原始・古代の日本と東アジア	第１章 日本文化のあけぼの	a 旧石器文化から縄文文化への変化, 弥生文化の成立などを基に, 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成, 原始社会の特色を理解している。 b 自然環境と人間の生活の関わり, 中国大陸･朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係, 狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して, 環境への適応と文化の形成について, 多面的･多角的に考察し, 表現している。 c 旧石器時代・縄文時代・弥生時代の歴史の変化に関わる諸事象について, よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を養うとともに, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚, 我が国の歴史に対する愛情, 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		第２章 ヤマト政権の成立と古墳文化	a 国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に, 古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b 中国大陸･朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して, 小国の形成と連合, 古代の国家の形成過程、またヤマト政権の展開や古墳時代の特色について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 c ヤマト政権の成立と古墳文化に関わる諸事象について, 課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚, 我が国の歴史に対する愛情, 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		第３章 律令国家の形成	a 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b 律令国家形成期の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c 律令政治の導入と，それにともなう社会の変化について，課題を主体的に探究しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
2		第４章 古代の国家・社会の 変容	a 貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。 b 地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c 平安時代の国家・社会の変容について，課題を主体的に探究しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

	第2部　中世の日本と世界	第１章 荘園公領性の成立と 院政	a 貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解している。 b 権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c 貴族政治の変容や武家政権の成立，当該期の世界との関わりについて，課題を主体的に探究しようとする態度を養うととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		第２章 中世の国家・社会の 展開	a 武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解している。 b 公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c 武家政権の成立と展開，鎌倉時代の産業・文化の発展，公武関係の変化，ユーラシアとの交流などについて，課題を主体的に探究しようとする態度を養うととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

3		第３章 中世の国家・社会の 変容	a 武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。 b 社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c 中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度